ナイス福岡 会報
自然感
くすのき
2013年1月
第210号

季節感

『百両がほどをこぼして 実万両』
伊藤トキノ

千両と同様、縁起の良いものとして庭などに植えられる。
小さく可愛らしい藪柑子は十両とも云われ正月がよく似合う…

『ミマンリョウ』
平成２５年１月５日
福岡市西区飯盛神社庭園
大塚俊樹

熊河居人独言（くまがわきょじんのひとりごと）

＃８１

私・kuma は日常生活の中で毎日朝起きた時、私が寝ている２階の部屋から東側に見ることができる「宝満山」を眺めている。天気が良い日では宝満山を含めた山脈、若杉山から愛嶽山まで眺めることができて、そのお陰で楽しい日常生活をはじめることができる。

私は現在７２歳で、３年前＝６８歳頃までは若杉山から宝満山まで、尾根筋に作られた遊歩道を、月に数回歩いていた。この山脈＝三郡山地に生えている樹木等の生え方の植生調査も行っていた。今でも宝満山の植物調査を含めて、山に登りたいと思っている。

太宰府市の竈門神社横から宝満山山頂付近までは、九州自然歩道を歩くことができる。この道沿いには、古代から江戸時代までは多くの人達が住んでおられた。住んでおられたのは仏教の僧侶達と、その生活を支える人達が主である。山の東斜面＝筑紫野市側にも、中世から明治初期までは宿坊があったと伝えられている。その遺跡の一部は発掘されており、太宰府市文化財課では、国史跡の指定を受ける為に年に数回の会議が行われている。筑紫野市も会議に参加しており、東側の斜面＝筑紫野市側も含めて、国史跡指定を申請することになっている。

★都市公園で自然観察会２０★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくりと観察します。

☆日時　１月２０日　（日）
集合１４時００分　～　解散１６時００分
☆場所　春日公園・自然かんさつ館
〔旧公園管理センター〕

連絡先　担当：田村　耕作
TEL ０９２－４００－１７６５〔ＦＡＸ兼用〕
Ｅメール　kurabird-.tamura@nifty.com

◆お報せ・その１◆

来年（2013年）度 自然観察指導員講習会について

先号でもお報せした通り、来年度の自然観察指導員講習会を福岡で開催するにあたり、下記の通りに日程が内定いたしました。

日程：2013年８月24(土)～25日(日)

※場所は、福岡県立社会教育総合センターを予定しています。その他詳細は未定です。

会員の皆様、出来るだけ多く参加者を募る為、自然案内などに関心を持っている方々に、この講習会を紹介してください。
宜しくお願いいたします。

「実り」そして「復活・再生」

事務局長　小野　仁

新年、明けましておめでとうございます。なんと、元旦から春日公園で探鳥会を実施しました。なんとも楽しい２０１３年の幕開けでした。

今年の干支は、「癸巳（みずのとみ）」。癸とは、太陽を基準として方角を知るための器具の象形文字で、「はかる」の意味を持っています。甲（きのえ）から十干（旬）の吉凶を占うという意味で、最後の１０番目に位置づけられています。癸は「はかる」の意味を持っており、植物の種が成長し、測れる大きさまで成長した状態を指します。すなわち、「実り」を表す言葉です。

「巳」（み、し）という字は、胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ、「起こる、始まる、定まる」などの意味があります。「巳」を動物にあてはめると「蛇」になりますが、古来より、蛇は信仰の対象となっており、谷神（やとのかみ。谷や低湿地を司る）、豊穣神、天候神などとして崇められてきました。また、蛇は脱皮をすることから「復活と再生」を連想させ、餌を食べなくても長く生きることから「神の使い」として崇められています。また、「弁財天」などとして、全国各地に蛇神を祀っている神社があります。

癸は「実り」を表し、巳の「復活と再生」の象徴。そんな一年になるようにお祈りいたします。また、弁財天は弁才天とも書きますが、これは弁（言葉）の才に優れていることを表します。今年は、インタープリターとしての更なるスキルアップを図りたいと思っています。楽しくも実りある１年にしましょう！

＊＊

◆お報せ・その２◆ 九州自然協議会開催のお報せ

以下、九州自然協議会の開催要項です。

◎オオイタサンショウウオと高崎山のサルを観察（温泉と飲み放題）

【期　日】２０１３年２月１６日（土）～２月１７日（日）
【場　所】大分県由布市陣屋の村（詳細は下記サイトにアクセス下さい）
http://www.jinyanomura.jp/
【費　用】￥8,500（1 泊 2 食：16 日の夕食と 17 日の朝食　※その他は各自）

【日　程】　※一部未定ですが，日時，会場とスタート，解散は決定です

16 日(土曜日)　12:00～13:00　受付
13:00～　陣屋の村でオオイタサンショウウオの観察
夕刻～　Nacs-J ゲストの話＋高崎山のサルの話（予定）
18:30ｏｒ19:00～　懇親会 1 部．豪華飲み放題の懇親会
21:00～　懇親会 2 部．各地からの持ち寄り飲み会

17 日(日曜日)　7:00～　起床・朝食など
8:00～　高崎山へ移動
9:00～　高崎山自然観察路（一般の観光客は入ってないエリア）の散策
12:00　解散予定

＊問い合わせ先＊　応用生態技術研究所（〒870-0889　大分市荏隈町 3-2 組）

足立 高行
Tel・Fax　097-546-6788
E-mail　lat38@gol.com
携帯　090-9564-3806

日本野鳥の会 福岡　主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

１／２０（日）２／１７（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時　間：9:00～12:00
集　合：天拝山歴史自然公園
問合せ：092-920-7112（山本勝）

１／２６（土）２／２３（土）
久末ダム探鳥会（福間町）
時　間：8:00～11:00
集　合：久末ダム多目的広場横駐車場　（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

２／３（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時　間：9:00～12:00
集　合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

２／９（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時　間：9:00～12:00
集　合：ボート乗り場前
092-573-1827（森健児）

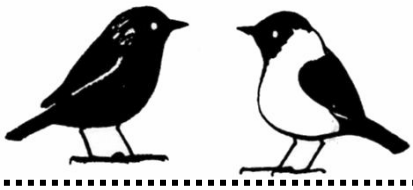
２／１０（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時　間：9:00～12:00
集　合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

２／５（火）
県営春日公園（春日市）
時　間：10:00～12:00
集　合：旧公園管理センター前
問合せ：090-7390-3561（小野仁）

日本野鳥の会 筑後　主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

１／２７（日）
濃施山公園（みやま市）
時　間：10:00 ～
集　合：公園内すいせん橋
問合せ：0944-58-1672（野田達行）



福岡植物友の会 主催

詳細はＨＰをご覧ください。

問合せ：092-662-2983（佃昇）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/

２／２（第１土曜日）
自然観察会（植物･昆虫･野鳥など）
集　合：九州歴史資料館駐車場
時　間：9:30～12:30
問合せ：092－920-3072（松永）

参加費：大人のみ 200 円（保険料込）
ブログは　三国丘陵　検索　で
すぐにヒットします。

1月5日　三国丘陵の自然を楽しむ会の観察会の様子

久留米の自然を守る会 主催

第４０３回例会　１／２０（日）
25年度総会と環境講演会
集　合：くるめウス
時　間：13:00～14:00(総会)
　　14:30～16:30（講演会）
動物カメラマン･津田堅之介氏講演
　テーマ
　「中国ネパール、奥アマゾン
　　野生動物を追い続けて」
　　下記 fax 要事前申し込み
　　17:30～　新年会
問合せ：0942-46-8622（古賀）
　　0942-46-8623(fax)

庭のシソ科の茎の霜柱　三国･松永

和白干潟を守る会 主催

１／２６（土）
守る会定例会議
時　間：10:30～13:00
集　合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

１／２６（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時　間：15：00～17：00
集　合：海の広場　駐車場なし
　　長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

◇投稿◇ ～春日市在住 ねこさんからの投稿２件です～

＊その１＊『ビワの花はどうやって花粉をはこぶ？』

11 月はじめに、新宮町の沖にある相島に出かけて来ました。島での散策中にふと気になったのが、ビワの木についた〝つぼみ〟でした。これからどんどん寒くなり、生きものも少なくなってくるのに、どうやって花粉を運んで果実を実らすのだろう？と思ったからです。イネのように風が運ぶ「風媒花」のようにも見えませんし、野鳥が運ぶのかな？などと考えながら、帰りの船の中で、これまでビワの花にどんな生きものが集まっていただろうと記憶をめぐらせてみましたが、思いのほか記憶にありませんでした。

見た記憶が少ないこともあって余計に気になり、ビワについてちょっと調べてみましたが、花粉の媒介者などについて書いてある書物が少なくて、手こずりました。少ない情報の中で判った事は、ビワは虫によって花粉をはこんでもらう「虫媒花」であることと、花に
集まる生きものとして、ミツバチ・クロスズメバチ・オオクロバエ・メジロ・ヒヨドリなどがいることでした。そこで新たな疑問が浮かびました。なぜ、虫に花粉を運んでもらいたいのに、生きものの少なくなる晩秋から初冬の頃に花を咲かせるんだろう？と。これについては、明確に書いてあるものを見つけることができませんでしたが、ビワと同じ時期に花を咲かせるヤツデについては、「ほかの花がなくなった初冬に花を咲かせることで、周囲に生活する昆虫をひとりじめして花粉を運ばせている」とありました。おそらく、ビワも遠からずなのでしょう。

うーん、生きものが多い時期に花を咲かせた方が優位に思えますが、競争率が低い時に花を咲かせるのも、また戦略なんですね。

【地球温暖化防止シンポジウム 2013 のお知らせ】

■日時：平成２５年１月２４日（木）１３：３０～１６：００（受付１３：００～）
■会場：レソラＮＴＴ夢天神ホール（福岡市中央区天神２－５－５５　レソラ天神５Ｆ）
■内容：
＜講演１＞「これからの温暖化対策について（仮）」　・講師：福岡大学法学部　浅野 直人 教授
＜講演２＞「ウォームビズやクールビズのトレンド（仮）」・講師：イオン九州(株)、(株)岩田屋三越
＜パネルディスカッション＞
「オフィスや家庭で楽しむウォームビズ・クールビズ（仮）」
・コーディネーター：浅野直人教授（福岡大学法学部）
・パネリスト：林 真実 氏（消費生活アドバイザー・環境カウンセラー）
(株)岩田屋三越、イオン九州(株)
■申込方法
下記の申込フォームの１～４を全てご記入のうえ、下記のメールに送ってください。
後日、入場整理券を郵送します。
■申込先：福岡市環境局温暖化対策課　担当：松尾
メール　ondan.EB@city.fukuoka.lg.jp　　ＦＡＸ　０９２－７３３－５５９２
■□申込フォーム「地球温暖化防止シンポジウム 2013」
１．住所：２．氏名：３．連絡先電話番号：４．職業：　　※１～４を全てご記入ください
まだ定員まで余裕がありますので、申込締切の１／１５（火）以降も受付予定です。
よろしくお願いいたします。

福岡市 環境局 温暖化対策課　担当 松尾　徹
（福岡市地球温暖化防止市民協議会事務局）
TEL　０９２－７１１－４２８２
FAX　０９２－７３３－５５９２

＊その２＊『冬のご馳走』

春日公園内の林の様子

１月はじめに、春日公園に出掛けてきました。雲の切れ間から日差しも時折注ぐ穏やかな１日で、春日公園では、散歩や凧揚げなどを楽しむ人も見られました。

双眼鏡を首から下げて歩いていると、公園内の林の中からカサカサという音がたくさん聞こえて来ました。

私は「シロハラが餌を探しながら歩いているのかな？」と想像しながら、そっとその林に近づいて双眼鏡を向けました。すると、いくつもの落ち葉が地面から跳ね上がる様子だけが見え、鳥の姿がとらえられません。どうやら、たくさん降り積もった落ち葉の中に潜るようにして、餌を探しているようです。体勢を低くしてもう少し近づいて探すと、やっとその主を見ることができました。それは、40 羽程のスズメの群れでした。

スズメは、私が近づいた事で、少し避けるように移動はしたものの、餌を探すことに一生懸命で逃げようとはしません。落ち葉を掻き分けながら必死に餌を探しています。その姿はとても愛らしく、私は、その様子から目が離せなくなりました。見ているうちに、何を食べているのかが気になり、スズメの口元に注目しました。スズメの嘴からは、小さくて茶色い植物のようなモノがはみ出していましたが、それが何かはわかりませんでした。

アキニレ？の種子と砕けたドングリ

しばらくした後、犬を連れた人に驚いて、スズメが飛び立ったので、食べていた餌を探すべく、林の中の落ち葉をめくってみました。すると、アキニレ？と思われる種子とドングリがたくさん見つかりました。スズメが一生懸命探して食べていたのは、このアキニレ？の種子のようです。この小さな種子は、餌の少ない寒い冬を乗り切るための大切なご馳走なのでしょうね。ドングリも踏まれるなどして割れていたら、砕けた実を食べているかもしれません。

落ち葉を跳ね上げるようにして一生懸命に餌を探すスズメの姿を思い出しながら、スズメたちが無事に冬を乗り切れると良いなと思いました。

（春日市在住　　ねこ）

＊その３＊『樋井川食堂　冬のご馳走？』

今、城南区を流れる樋井川は、洪水対策のための大規模工事が進行中です。河口から田島橋付近までの約４㎞、川の断面積を広げるための工事です。川に生えていた草はほとんど取り除かれたのですが、背丈が凡そ３ｍになるオオブタクサの群落が別府橋の上流側に少しあります。この枯れた茎にいろいろな野鳥がやって来て食べ物を得ているようでした。

やってくる野鳥はスズメ・カワラヒワ・エナガ・シジュウカラ・**コゲラ**・ウグイス・アオジなどです。

報告・田字草/撮影・生田哲朗

・～・春日公園自然観察日記／１９回2012年12月１６日（日）・～・

この日は参加者が私を含め６名でした。寒い日が続いていたのですが、少し寒さが緩んだ日で、ほとんど風もなく、初冬の公園を楽しみました。

かんさつ館のそばにあるレンギョウ、冬が始まったばかりというのに、鮮やかな黄色の花を数輪咲かせていました(**写真 1**)。この花、なぜこの寒い時期に咲いているのでしょうか。

ケヤキの樹皮が剥がれて、根元に落ちていました。落ちていた樹皮、木のどの部分から落ちたか、パズルゲームです。ぴったしの樹皮、どこから剥がれ落ちたか、見つかりました。(**写真 2**)。

アキニレの種を、カワラヒワとマヒワの群れ(凡そ２０羽程度)が盛んに食べていました。同じ木にスズメの群れもやって来て、種を食べていました。こんな風景、あまりみたことがありません（**写真　3**)。アキニレの種が、くすのきの樹皮にくっついていました。(**写真　4**)。近くのサルスベリの木で小さなヌケガラを発見。体長２～３㎜、なんのぬけがらでしょうか（**写真　6**)。

もう気温が５～６℃、冬というのに、花をたくさん咲かせているコスモスに、モンシロチョウが１頭来ていました。まだ秋の風景でした。

今回も池でカワセミ君に出会いました(**写真５**)。

くすのき、じっくり観察するのが面白いですね。地衣類の仲間がいろいろでした。名前はわかりません。そこに羊歯の仲間のノキシノブがいっぱいでした。くすのきはノキシノブが育ちやすい条件を持っているようです。ヤツデ、ムクノキ、ノシラン、エノキも育っていました。

ケヤキの樹形が美しかった（**写真　7**)。葉を落とし、冬ならではの風景ですね。

たくさん花を咲かせているサザンカ、花の蜜を探しました（**写真　8**)。

最後に、ボケの花、一輪見かけました（**写真　9**)。

同じ場所を歩いても、毎回新しい風景に出会うのが楽しいですね。

写真１　黄色が鮮やかなレンギョウの花

写真２　樹皮の形、ピッたしか

写真　3　アキニレの実を食べる鳥たち

写真　4　くすのきの樹皮にくっついていたアキニレの種

写真　５人気のあるカワセミ

写真　６　不明の生きもの

写真　８　サザンカの花の蜜

写真　７　美しい樹形を見せてくれたケヤキ

写真９　ボケの花一輪

報告と写真　田字草

参加者募集しています！　第２回　野鳥公園ラウンジカフェ

「野鳥公園でできることって何だろう？」、「人にとっての野鳥公園って？」、「野鳥にとっての野鳥公園？」、など誰がなにをするための空間なのかを、参加者全員でワイワイ語りませんか？

日時　１月１９日（土）１３時から１６時まで〔開場　１２時３０分〕
場所　天神クリスタルビル　Ａホール〔福岡市中央区天神４－６－７〕
プログラム　みんなでつくろう『〇〇ができる野鳥公園』
参加費　無料　どなたでも参加できます。子どもも参加できます。
主催　福岡市環境局
申し込み先/お問合せ先　福岡市環境局　野鳥公園整備担当　名川
電話　０９２－７３３－５３８９　ファクス　092-733-5592
メール　nagawa.m02@city.fukuoka.lg.jp

◆◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆◆

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について
それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

年会費:2000円
郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会　01760-9-15783

皆に知らせたいことはありませんか？
皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。
皆さん情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか？
本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として**毎月第2金曜の 18:00～20:00 ごろまで**自然案内舎㈲クラバードにて行っています。
会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしています！
次回の定例会は、平成２５年　２月８日（金）午後６時より事務局で行います。２月号の原稿は、２／６（水）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。
※お願い　会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。
宜しくお願いします。

他団体の会報の紹介
・日本野鳥の会筑後支部　会報まめわり　第140号(2013年１月号)、1/1発行。
キクイタダキ、マヒワの写真を掲載していました。
・自然観察指導員熊本県連絡会　会報自然観察　第１４５号　１２．１２．１８
自然観察くまもと30周年記念　地域研修の報告を掲載
・島根県自然観察指導員連絡協議会　おとしぶみ８９　 2012. 12. 26入手
出雲大社　社寺林観察会のお知らせ　1/20の１０時　出雲大社駐車場集合
・久留米の自然を守る会　久留米の自然　第１１７号平成２５年1月1日
丹部竹志氏の思い出の記事、連載・郷土の樹木、など

お問合せ：　福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka：The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：冷川昌彦／事務局長：小野 仁／
編集：田村耕作･山本勝･松永紀代子･吉田素子／会計：宮原俊彦
〒814-0144　福岡市城南区梅林２丁目１０番２３号
ハイツ中村４０１
自然案内舎㈲クラバード内　TEL & FAX：092-400-1765
URL：http://www.kurabird.com/
掲示板 URL: http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/

編集後記　12月の定例発送会は、山本弘子・大塚俊樹・藤川渡・鶴田義明・田村耕作が参加。田中健二・山本勝から欠席の連絡有り。この冬は例年に比べて寒い日が多いような気がします。会員の皆様はどう感じておられますか。でも、スイセンは花を咲かせはじめており、レンギョウも花を咲かせていました。ネコヤナギも猫のような蕾を膨らませていました。生きものの暦は確かな時が流れていますね。田宇草